

令和元年度

どうなん・追分シーニックバイウェイルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どんなん追分シーニックバイウェイルート	報告者: どんなん追分シーニックバイウェイ代表 佐藤裕史	報告年月日: 2020/3/31
----------------------------	------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観 ・ビュースポットの発信と維持活動	「ビューポイントパワーアップ」プロジェクト	どんなん追分シーニック清掃活動(松前道の駅周辺清掃活動)	どんなん追分SBWR 道の駅北前船松前 松前観光協会	平成31年4月20日	30名	A-1	ルートの秀逸な道区間ということで昨年から第二回目の開催。今後も継続して活動予定。
		どんなん追分シーニック清掃活動(江差椴川沿清掃活動)	どんなん追分SBWR 江差観光コンベンション協会	平成31年4月21日	30名	A-1	第7回目となった。継続して行われており、不法投棄が減少した成果もみられている。
		どんなん追分シーニック清掃活動(木古内R228沿清掃活動)	どんなん追分SBWR 木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	平成31年4月14日	100名	A-1	シーニックがかかわってから第4回目となりサラキ岬のほかにもR228沿い、みそぎ浜等も清掃。
		どんなん追分シーニック清掃活動(松前折戸浜「秀逸な道」区間清掃活動)	松前町・松前周辺郵便局関係者	令和元年6月8日	30名	A-1	「秀逸な道」区間の折戸浜海岸での清掃活動は郵便局職員中心に行われており、多様な団体のボランティア活動との連携を視野に参加。
		チューリップフェア2019	木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	令和元年5月1日～6日	不明 (主催者50名 来客約1500名程度)	A-2	7月に行う球根掘と10月に行う植栽が花開くを見ることができなのがこのフェア。知名度も広がってきている。
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動(サラキ岬球根掘起し)	どんなん追分SBWR 木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	令和元年7月6日	70名	A-2	今年は暑い時期前に行った。参加者が増えたため作業が大分楽になった。
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動(サラキ岬球根植え)	どんなん追分SBWR 木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	令和元年10月26日	100名	A-2	地域の高齢化で活動が難しくなっているが支援居力体制ができてきて作業効率がよくなった。
		福島町R228沿い青函トンネル記念館前植栽活動	どんなん追分SBWR 福島町観光協会	令和元年6月26日	25名	A-2	今年度から福島町青函トンネル記念館前の植栽エリアでの植栽をルートとして支援。
		いにしえ街道のとくみ(第9回江差北前のひな語り)	北前ひな語り実行委員会 江差歴まち商店街協同組合	令和2年2月8日～3月15日	600名	C-1	今年度は後半はほぼイベントが中止となったが前半は雪も少なく天候に恵まれた。
	「どんなん追分シーニックdeナイト」プロジェクト	どんなん追分シーニックdeナイト(木古内チューリップフェア2019)	どんなん追分SBWR 木古内町観光協会・咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	令和元年5月4日	30名	A-3	令和になって初の開催。
		どんなん追分シーニックdeナイト(江差夕焼けコンサート・ガイアナイト2019)	どんなん追分SBWR 江差商工会・江差歴まち商店街協同組合 ほか	令和元年8月1日	300名	A-3	例年通りビアガーデンも含めて実施されたが、選挙のため8月になり、予算も削減されたり、他のイベントの重なったために集客は減った。
		どんなん追分シーニックdeナイト(3町連携)	どんなん追分SBWR 厚沢部町観光協会 福島町観光協会 木古内町観光協会	令和元年12月22日	130名	A-3	昨年に引き続き行ったが短い準備期間だったため3町の参加となった。
		どんなん追分シーニックdeナイト(江差年越し)	どんなん追分SBWR 江差商工会・江差歴まち商店街協同組合 ほか	令和元年12月31日	200名	A-3	例年とおりの規模ではあるが継続して行っている。
		どんなん追分シーニックdeナイト(みそぎ祭りみそぎキャンドル)	みそぎ祭り実行委員会 どんなん追分SBWR 木古内町観光協会・木古内商工会	令和2年1月14日	300名	A-3	今年度もたくさんの参加者のちょうちん行列の道をキャンドルで飾った。参加者人数は祭り全体での人数を示している。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート		報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 佐藤裕史					報告年月日: 2020/3/31	
		H29						
地域づくり	・どうなんの「道」の宝探し、歴史・文化をたどる連携と活用	「どうなんフットパス・ロード」プロジェクト	第27回殿様街道探訪ウォーク春	福島町千軒地域活性化実行委員会	令和元年5月3日	110名	B-1	この活動は当ルートの大きな取組で柱となるものの1つ。
			第28回殿様街道探訪ウォーク秋	福島町千軒地域活性化実行委員会	令和元年10月20日	86名	B-1	この活動は当ルートの大きな取組で柱となるものの1つ。
			どうなんサイクル事業ガイド認定講座	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年6月15日～16日	7名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どうなんサイクル事業台湾招聘ツアー	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年10月2日～5日	17名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どうなんサイクル事業ガイド養成勉強会	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年12月26日	15名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どうなんサイクル事業ガイド実践(商品化ツアー参加)	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年7月13日～8月4日間 3泊4日で3回	28名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			第20回学習会(全体会議時) (「秀逸な道」勉強会)	どうなん追分SBWR	令和元年年11月27日	23名	B-3	ルートの認識を深めるために学習会として取り上げ、支笏洞爺ニセコルートの実例を講演してもらう。協働型事業の一環としても行った。
	・歴史の道掘り起こし」プロジェクト	第27回殿様街道探訪ウォーク春	福島町千軒地域活性化実行委員会	令和元年5月3日	110名	B-1	この活動は当ルートの大きな取組で柱となるものの1つ。	
		第28回殿様街道探訪ウォーク秋	福島町千軒地域活性化実行委員会	令和元年10月20日	86名	B-1	この活動は当ルートの大きな取組で柱となるものの1つ。	
		どうなんサイクル事業ガイド認定講座	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年6月15日～16日	7名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。	
		どうなんサイクル事業台湾招聘ツアー	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年10月2日～5日	17名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。	
		どうなんサイクル事業ガイド養成勉強会	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年12月26日	15名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。	
		どうなんサイクル事業ガイド実践(商品化ツアー参加)	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年7月13日～8月4日間 3泊4日で3回	28名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。	
		第20回学習会(全体会議時) (「秀逸な道」勉強会)	どうなん追分SBWR	令和元年年11月27日	23名	B-3	ルートの認識を深めるために学習会として取り上げ、支笏洞爺ニセコルートの実例を講演してもらう。協働型事業の一環としても行った。	
	・交流人口を高める人材の育成	「おもてなしガイド」プロジェクト	どうなんサイクル事業ガイド認定講座	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年6月15日～16日	7名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どうなんサイクル事業台湾招聘ツアー	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年10月2日～5日	17名	B-2 C-3	今年度ルートの主な事業として行った。
			どうなんサイクル事業ガイド養成勉強会	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年12月26日	15名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どうなんサイクル事業ガイド実践(商品化ツアー参加)	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	令和元年7月13日～8月4日間 3泊4日で3回	28名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			第19回学習会(定期総会時) (おもてなしガイド勉強会)	どうなん追分SBWR	令和元年年6月7日	24名	B-3	昨年度各町の要望が高かったことからこちらのテーマで実践的な勉強会を行った。
			第20回学習会(全体会議時) (「秀逸な道」勉強会)	どうなん追分SBWR	令和元年年11月27日	23名	B-3	ルートの認識を深めるために学習会として取り上げ、支笏洞爺ニセコルートの実例を講演してもらう。協働型事業の一環としても行った。
			スイスモビリティ財団視察	北海道モビリティ研究会	令和元年8月30日～9月2日	視察1名 対応28名	C-3	江差・松前・函館にて地域の方々との交流会を行った。サイクルツーリズム推進協議会とはディスカッションの場を持ちスイスの状況について勉強会も行った。
米国コロラド州SBW関係者視察	シーニックバイウェイ支援センター	令和元年9月16日～19日	視察2名 対応30名	C-3 C-4	ニセコで今年度行われた日本風景街道大学の開催前に視察。日本と北海道の歴史・文化を堪能して頂いた。			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どんなん追分シーニックバイウェイルート		報告者: どんなん追分シーニックバイウェイ代表 佐藤裕史					報告年月日: 2020/3/31	
		H29						
地域づくり	情報共有と情報発信の相乗効果	-	どんなんサイクル事業 台湾招聘ツアー	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年10月2日～5日	17名	B-2 C-3	今年度ルートの主な事業として行った。 台湾の招聘したメディア関係者のSNS等で発信
			どんなんサイクル事業 ガイド実践(商品化ツアー参加)	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年7月13日～8月4日間 3泊4日で3回	28名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。 商品化を行った丹羽サイクルツーリズムのSNS等で発信
			どんなんサイクル事業 FB(SNSの活用) HP作成(日本語版・英語版)	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	随時	フォロアー 533名	B-4	フォロアーを獲得し世界発信をしている
			パネル展示 (寒中みそぎ祭り会場)	函館開発建設部	令和2年1月14日・15日	300名	C-2	参加者人数は祭りの参加者の全体数で示している。
			ホームページの作成	どんなん追分SBWR	随時	-	B-4	今年度リニューアル発信をした。
			FB(SNSの活用)	どんなん追分SBWR	随時	フォロアー 670名	B-4	地道ではあるがフォロアーを増やしながらか適宜にイベント情報等を発信している。
観光	「どんなん追分シーニックdeナイト」プロジェクト		どんなん追分シーニックdeナイト (木古内チューリップフェア2019)	どんなん追分SBWR 木古内町観光協会・威臨丸とサラキ岬に 夢見る会	令和元年5月4日	30名	A-3	令和になって初の開催。
			どんなん追分シーニックdeナイト(みそぎ祭りみそ ぎキャンドル)	どんなん追分SBWR	令和2年1月14日	300名	A-3	今年度もたくさんの参加者のちようちん行列の道をキャンドルで飾った。 参加者人数は祭り全体での人数を示している。
	「どんなんフットパスロード」プロジェクト		どんなんサイクル事業 台湾招聘ツアー	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年10月2日～5日	17名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どんなんサイクル事業 ガイド実践(商品化ツアー参加)	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年7月13日～8月4日間 3泊4日で3回	28名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			第20回学習会(全体会議時) (「秀逸な道」勉強会)	どんなん追分SBWR	令和元年年11月27日	23名	B-3	ルートの認識を深めるために学習会として取り上げ、支笏洞爺ニセコルートの実 例を講演してもらう。協働型事業の一環としても行った。
	「おもてなしガイド」プロジェクト		江差いにしえバル街	江差いにしえバル実行委員会 江差歴まち商店街協同組合	令和元年6月22日	450名	C-2	2回目を迎えた9月から6月開催となった。生憎の悪天候だったがたくさん の来訪があった。来年度も継続予定。
			どんなんサイクル事業 ガイド認定講座	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年6月15日～16日	7名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どんなんサイクル事業 台湾招聘ツアー	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年10月2日～5日	17名	B-2 C-3	今年度ルートの主な事業として行った。
			どんなんサイクル事業 ガイド養成勉強会	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年12月26日	15名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			どんなんサイクル事業 ガイド実践(商品化ツアー参加)	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした 北海道サイクル ツーリズム推進協議会	令和元年7月13日～8月4日間 3泊4日で3回	28名	B-2	今年度ルートの主な事業として行った。
			第19回学習会(定期総会時) (おもてなしガイド勉強会)	どんなん追分SBWR	令和元年年6月7日	24名	B-3	昨年度各町の要望が高かったことからこちらのテーマで実践的な勉強会を行っ た。
			スイスモビリティ財団視察	北海道モビリティ研究会	令和元年8月30日～9月2日	視察1名 対応28名	C-3 C-4	江差・松前・函館にて地域の方々との交流会を行った。サイクルツーリズム推進 協議会とはディスカッションの場を持ちスイスの状況について勉強会も行った。
			米国コロラド州SBW関係者視察	シーニックバイウェイ支援センター	令和元年9月16日～19日	視察2名 対応30名	C-3	ニセコで今年度行われた日本風景街道大学の開催前に視察。日本と北海道の 歴史・文化を満喫して頂いた。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート		報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 佐藤裕史					報告年月日: 2020/3/31	
H29								
観光	「ビューポイントパワーアップ」プロジェクト	いにしえ街道のとりくみ (いにしえ街道花嫁行列)	江差歴まち商店街協同組合	令和元年5月3日	1000名	C-1	今年は天気に恵まれ例年よりも人出が多かった。	
		いにしえ街道のとりくみ (第9回江差北前のひな語り)	北前ひな語り実行委員会 江差歴まち商店街協同組合	令和2年2月8日～3月15日	600名	C-1	今年度は後半はほぼイベントが中止となったが前半は雪も少なく天候に恵まれた。	
		千軒そば花観賞会	福島町千軒地域活性化実行委員会	令和元年8月25日	350名	C-1	松前神楽の奏上が人気。	
		「どうなんの食北のどんぶり」プロジェクト	江差いにしえバル街	江差いにしえバル実行委員会 江差歴まち商店街協同組合 どうなん追分SBWR	令和元年6月22日	450名	C-2	2回目を迎えた9月から6月開催となった。生憎の悪天候だったがたくさんの来訪があった。来年度も継続予定。
	・地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり	「教育体験観光呼び込み」プロジェクト	いにしえ街道のとりくみ (いにしえ街道花嫁行列)	江差歴まち商店街協同組合	令和元年5月3日	1000名	C-1	今年は天気に恵まれ例年よりも人出が多かった。
			いにしえ街道のとりくみ (第9回江差北前のひな語り)	北前ひな語り実行委員会 江差歴まち商店街協同組合	令和2年2月8日～3月15日	600名	C-1	今年度は後半はほぼイベントが中止となったが前半は雪も少なく天候に恵まれた。
			千軒そば花観賞会	福島町千軒地域活性化実行委員会	令和元年8月25日	350名	C-1	松前神楽の奏上が人気。
	・各地域の観光イベントの連携	-	江差いにしえバル街	江差いにしえバル実行委員会 江差歴まち商店街協同組合 どうなん追分SBWR	令和元年6月22日	450名	C-2	2回目を迎えた9月から6月開催となった。生憎の悪天候だったがたくさんの来訪があった。来年度も継続予定。
			パネル展示 (寒中みそぎ祭り会場)	函館開発建設部	令和2年1月14日・15日	300名	C-2	参加者人数は祭りの参加者の全体数で示している。
	日本風景街道・シーニック連携	-	米国コロラド州SBW関係者視察	シーニックバイウェイ支援センター	令和元年9月16日～19日	視察2名 対応30名	C-3 C-4	ニセコで今年度行われた日本風景街道大学の開催前に視察。日本と北海道の歴史・文化を満喫して頂いた。
			日本風景街道大学宮崎校参加	日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会・日本風景街道コミュニティ	令和2年1月10日～12日	1名(当ルートからの参加)	C-4	毎年宮崎で開催される宮崎校が今回10周年記念であり、会長参加。3日目のエクスカージョンは不参加。
			秋田県のしろ市民まちづくりフォーラム参加	のしろ白神ネットワーク事務局	令和2年2月18日～19日	3名	C-4	昨年度のルートの取組「どうなん道の駅連携事業」について代表して道の駅北前船松前長谷川駅長に登壇頂いた。

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①
どうなん追分シーニック清掃活動

【概要】 GW道南地域に桜が咲く季節にあわせ、一年で一番観光客が多い時節、GW前約2週間をシーニック清掃週間と位置づけルートで景観づくりをしている。江差町榎川では第7回目・木古内町では第4回目の取組みとなり、昨年からはまった秀逸な道のエリア松前町でも今年第2回目を開催した。継続的な活動となってきている。折戸浜駐車場で6月に郵便局中心の清掃活動に参加、秀逸な道区間であり関わり等他の場所とともに検討。

【日時】 木古内町 平成31年4月14日（日）・ 松前町 平成31年4月20日（土）
江差町 平成31年4月21日（日）・ （松前町 令和元年6月8日（土））

【場所】 木古内町サラキ岬、みそぎ浜、大釜谷駐車場、木古内の坊（R228沿い）
松前町道の駅北前船松前周辺（R228沿い）・ 江差町榎川駐車場周辺（R228沿い）
（松前町折戸浜駐車場周辺（R228沿い））

【実施団体】 木古内町観光協会ほか・松前観光協会ほか・江差観光コンベンション協会ほか・（郵便局員ほか）

【参加人数】 木古内町100名・松前町30名・江差町30名・（松前町折戸浜30名）

《木古内（2018年90名・2017年40名）・松前（2018年11名・2017年開催なし）・江差（2018年30名・2017年30名）》



木古内サラキ岬



松前 道の駅周辺



江差榎川 駐車帯



（松前折戸浜 駐車帯）

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②
木古内町サラキ岬R228沿いチューリップほか植栽活動

【概要】 国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、チューリップの植栽を行っている。5月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っている。今年は福島町青函トンネル記念館前でVSPに取り組んでいる植栽をシーニックとしても初参加し、道路景観づくり、地域づくりとして取組を推進した。

【日時】 チューリップフェア 令和元年5月1日～6日 球根掘起し作業 令和元年7月6日
球根植え作業 令和元年10月26日 福島町植栽活動 令和元年6月26日

【場所】 木古内町サラキ岬・ 福島町青函トンネル記念館前

【主催】 咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会 / 福島町観光協会

【参加人数】 チューリップフェア 不明（カウントなし）

球根掘起し 70名・ 球根植え100名・ 福島町植栽 25名

《球根掘起し（2018年70名・2017年50名）・球根植え（2018年110名・2017年100名）・福島町植栽（なし）》



チューリップフェア5月



球根掘起し作業 7月



球根植え作業 10月



福島町植栽 6月

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト
どうなん追分シーニックdeナイト

【概要】「キャンドルのあかりが繋ぐ道」をテーマに年間通して、主に当ルートではイベントと併催することで沿道景観づくりの演出をしている。今年度は昨年に引き続き3カ所の道の駅で冬の集客を目指して、連携して灯りのイベント開催。エリア内でのシーニックのあかりの活動は今後も継続的に活動を実施。下記のほか8月1日江差ガイアナイト2019、12月31日江差年越しキャンドルも開催されている。

- 木古内チューリップフェア2019どうなん追分シーニックdeナイト 【日時】令和元年5月4日（土）
【場所】木古内町サラキ岬 【主催】木古内町観光協会他 【参加人数】30名
- どうなん追分シーニックdeナイト3町連携 【日時】令和元年12月22日（日）
【場所】道の駅あっさぶ・福島町横綱記念館前（道の駅横綱の里ふくしま）・道の駅みそぎの郷きこない
【参加人数】計130名（主催者20名 一般参加110名）
- 木古内町みそぎキャンドル【日時】令和元年1月14日（火）【場所】佐女川神社・木古内駅前
【主催】木古内町観光協会他 【参加人数】300名（主催者40名 一般参加260名）



木古内チューリップフェア
どうなん追分シーニックdeナイト



3町連携シーニックdeナイト
（福島町）



木古内みそぎキャンドル

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなんフットパスロード・歴史の道掘り起しプロジェクト
殿様街道探訪ウォーク

- 【概要】 継続事業として第27回春・第28回秋の殿様街道探訪ウォークを開催。毎回テーマや松前神楽の演目を変えているためリピーターも多い。また、昼食の千軒十割そばはここでしか味わえない一品。今年度は没後200年となる伊能忠敬の像を建立した北海道測量開始記念公園が福島町にでき一層力をいれていきたい事業のひとつ。
- 【日時】 春：令和元年5月3日（金・祝） 秋：令和元年10月20日（日）
- 【場所】 福島町千軒岳
- 【主催】 福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会
- 【参加人数】 春：110名（主催者50名、一般参加60名）
秋：86名（主催者50名、一般参加36名）



殿様街道探訪ウォーク 春



殿様街道探訪ウォーク 秋



松前神楽奏上（毎回演目別）

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・歴史の道掘り起しプロジェクト
おもてなしガイドプロジェクト どうなんサイクルツーリズム推進事業

【概要】 2018年に引き続き今年度も北海道観光振興機構から広域観光推進事業予算の支援を受け、当ルートが主体となる歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会により、①サイクリングツアー②ガイド認定講座③ガイド養成勉強会④先進地視察⑤外国語対応パンフ・HP作成⑥プロモーションセールスコール⑦関係事業支援⑧検討会の7つの項目について実施開催をした。そのほかにコース試走や商品化されたツアーによる実践のサイクルガイド等も今年度行った。

【日時】 ①10/2～5②6/15～16③12/26④10/6・11/16～18・1/10～13 ⑤3月完成⑥期間中⑦7/13～8/4他10件の参加⑧6/3・8/9・2/28（中止）

【場所】 ①木古内・知内・福島・松前・上ノ国・江差②江差一円③函館④青森・しまなみ海道（愛媛）・台湾（台北）⑦南北海道地域 ⑧函館

【参加人数】 ①全17名（ツアー6名）②7名③15名④青森3名・しまなみ1名・台湾5名⑦1～5名ガイド参加（ツアー24名）⑧第一回検討会23名・第一回幹事会9名



サイクリングツアー開催



ガイド認定講座開催



パンフレット 日本語・英語版

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：おもてなしガイドプロジェクト、どうなんフットパスロードプロジェクト
歴史の道掘り起しプロジェクト、どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概要】今年度は2回の学習会の開催。総会時と全体会議の日程に合わせて会議後に行った。昨年度、各ヒアリング等でガイドの重要性をルート全体、各町が声を上げていたことで第19回は「おもてなしガイド」について実践的なお話を松前のカリスマガイドから伺った。第20回については来年度から本格化する「秀逸な道」の取組についてルート全体で把握することを目的として、支笏洞爺二セコルートの実例を講演してもらいながらこのルートで何ができるかを議論した。

■第19回学習会 おもてなしガイド (令和元年度ルート定期総会 終了後開催)

【日時】令和元年6月7日(金) 【場所】松前町ふれあい交流センター 【参加者】24名

【講師】松前観光協会ガイドアドバイザー 飯田幸仁氏

■第20回学習会 秀逸な道について (令和元年度第一回行政連絡会議・全体会議 終了後開催)

【日時】令和元年11月27日(水) 【場所】福島町吉岡総合センターなごめーる 【参加者】23名

【講師】函館開発建設部 筒井調査官・ルートコーディネーター 佐藤好子氏
支笏洞爺二セコルートの取組 (2017ベストプロ最優秀賞) 中村幸治氏



おもてなしガイド学習会



秀逸な道学習会



支笏洞爺二セコルートの取組

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：情報共有・情報受発信
どうなん・追分シーニックバイウエイルート全体

【概要】 情報発信の重要性が高まる中で今年度ホームページを更新。FaceBook等SNSを活用した情報発信を行っている。また、どうなんサイクル事業の中でも「チャリ旅みなみ北海道」でホームページを作成し、今年度は英語版も掲載した。

【どうなん・追分シーニックバイウエイルートホームページ】

<https://www.donan-oiwake-sbw.com/>

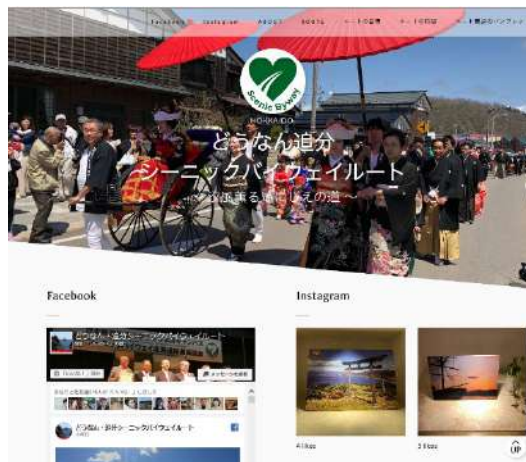
【どうなん・追分シーニックバイウエイルートFaceBook】

<https://www.facebook.com/どうなん追分シーニックバイウエイルート-269335286603575/>

【チャリ旅みなみ北海道 ホームページ&FaceBook】

<https://cycletourism-southhokkaido.org/> <https://cycletourism-southhokkaido.org/en/>

<https://www.facebook.com/cycletourism.southhokkaido/>



どうなん追分SBW HP



どうなん追分SBW FaceBook



チャリ旅みなみ北海道 HP英語版・FB

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼び込みプロジェクト
ビューポイントパワーアッププロジェクト・いにしえ街道のとりくみ他

【概要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、着物を着付けて街歩きや職人技術を活かした木工体験等、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。また、福島町千軒そば花観賞会についても芋掘り体験などができ、今年度国の重要無形文化財指定となった松前神楽をそば花畑で観賞でき年々人気が増している。

- 江差いにしえ街道花嫁行列【日時】令和元年5月3日（金・祝）【場所】江差いにしえ街道
【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】1000名（主催者70名、一般参加930名）
- 江差北前のひな語り【日時】令和2年2月8日～3月15日【場所】江差いにしえ街道・江差一円
【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】600名（主催者50名、一般参加550名）
- 千軒そば花観賞会 【日時】令和元年8月25日（日） 【場所】福島町千軒
【主催】福島町千軒地域活性化実行委員会 【参加人数】350名（主催者50名、一般参加300名）



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り



千軒そば花観賞会

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり・各地イベントの連携
おもてなしガイドプロジェクト・どうなんの食北のどんぶりプロジェクト

【概要】ルートでは各地のイベントとの連携を図ってきた、その中で特に昨年に引き続き、江差町のいにしえ街道を中心にバル街を開催。また、木古内町の寒中みそぎ祭りでシーニックバイウエイのパネル展を開催。いずれもルートとして支援・協力し宣伝効果もあった。

■江差町いにしえバル街

【日時】令和元年6月22日（土） 【場所】江差町一円

【主催】江差いにしえバル街実行委員会 【参加者】450名

■木古内町寒中みそぎ祭りシーニックパネル展示

【日時】令和元年1月14日（火）～15日（水） 【場所】みそぎ広場

【主催】函館開発建設部 【参加人数】300名（主催者40名 一般参加260名）



江差町いにしえバル街開会式



みそぎ祭りSBWパネル展

江差町いにしえバル街

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：おもてなしガイドプロジェクト
どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概要】今年度、サイクルツーリズム事業を中心にインバウンド観光視察の対応について、ルートで3回、欧州スイス・アメリカ・台湾とバラエティーなところからの視察が続いたことから情報共有を図り、スキルアップを進めた。

■ スイスモビリティ財団 ルーカス氏視察

【日時】令和元年8月30日（金）～9月2日（月）【場所】江差・上ノ国・松前・福島・知内・木古内

【主催】北海道モビリティ研究会 【視察】1名【スタッフ】4名【ルート参加者】24名

■ 米国コロラド州 シーニック関係者視察

【日時】令和元年9月16日（月）～19日（木）【場所】函館・江差・上ノ国・松前

【主催】シーニックバイウェイ支援センター【視察】2名【スタッフ】3名【ルート参加者】27名

■ 台湾招聘サイクルツアー 台湾経済界・観光メディア関係者視察

【日時】令和元年10月2日（水）～5日（土）【場所】木古内・知内・福島・松前・上ノ国・江差

【主催】歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会【視察】6名【スタッフ】11名



スイスモビリティ財団視察



米国コロラド州SBW視察



台湾招聘サイクルツアー

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：新しい取組：日本風景街道との連携
どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概要】2018年度に宮崎大学での日本風景会議大学に参加したことをきっかけに宮崎日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会との連携で道の駅酒谷と道の駅北前船松前と特産品を販売し合う事例、9月に宮崎からの視察があり、2019年度も日本風景街道との関わりが深い年度となった。継続的な連携をルートとして推進したい。

■米国コロラド州 シーニック関係者の視察

【日時】令和元年9月16日（月）～19日（木） 【場所】函館・江差・上ノ国・松前

【主催】シーニックバイウェイ支援センター 【視察】2名 【スタッフ】3名 【ルート参加者】27名

■日本風景街道大学宮崎校参加（3日目エクスカージョンは不参加）

【日時】令和2年1月10日（金）～12日（日） 【場所】宮崎大学ほか 【参加】1名（佐藤会長）

【主催】日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会・日本風景街道コミュニティ

■秋田県のしろ市民まちづくりフォーラム参加

【期間】令和2年2月18日（火）～19日（水） 【場所】能代市旧料亭金勇

【主催】のしろ白神ネットワーク事務局 【参加】3名（講演：道の駅北前船松前長谷川駅長）



米国コロラド州視察・江差町



日本風景街道大学宮崎校参加

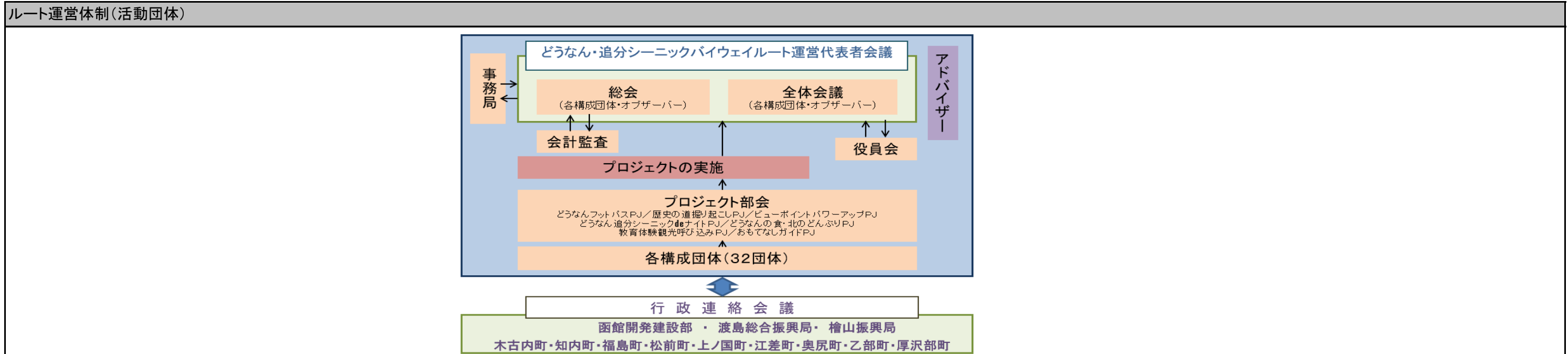


のしろ市民まちづくりフォーラム

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:どうなん追分シーニックバイウエイルート	報告者:どうなん追分シーニックバイウエイルート代表 佐藤裕史	報告年月:2020/3/31
---------------------------	--------------------------------	----------------

活動団体
木古内商工会／木古内町観光協会／咸臨丸とサラキ岬に夢みる会／木古内町駅前中央商店街組合／知内商工会／知内観光協会／フロンティア21／福島町商工会／福島町観光協会 福島町千軒地域活性化実行委員会／かがり火コンサート実行委員会／松前商工会／松前観光協会／江差町歴まち商店街協同組合／江差商工会／江差観光コンベンション協会 江差追分会／ハートランドフェリー(株)／上ノ国町商工会／上ノ国町観光協会／厚沢部商工会／厚沢部町観光協会／乙部商工会／奥尻商工会／奥尻島観光協会 函館バス(株)／木古内公益振興社／(株)大宇工業(道の駅北前船松前(指定管理者))／しりうち観光推進機構／どうなんチャリンコ倶楽部／乙部町観光協会／道南いさりび鉄道株式会社



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			総会 6/7						全体会議 11/27				
	役員会												第1回 3/27	
	学習会・勉強会			学習会 6/7						学習会 11/27				
	部会	事務局会議 4/17	事務局会議 5/18	第1回検討会 6/3		第1回幹事会 8/9							第2回検討会 2/28(中止)	
	その他	事務局打合 4/14								事務局打合 11/15				
ルート名称:どうなん追分シーニックバイウエイルート										報告年月:2020/3/31				

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議の実施		5/18 (オブザーバー参加)	6/3・6/7 (オブザーバー参加)		8/9 (オブザーバー参加)				11/27			3/27 (オブザーバー参加)	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: どうなん追分シーニックパイウェイルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2020/3/31
----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	ビュースポットの発信と維持活動	どうなん追分シーニック清掃活動 (松前道の駅周辺「秀逸な道」 区間清掃活動)	平成31年4月20日 ※シーニック清掃活動 期間4/14~4/29	松前町・松前観光協会・大宇工業・函館開発建設部	国道228号沿いルートの「秀逸な道」区間の一部の道の駅北前船松前周辺で行われた清掃活動に参加。また、春の全道一斉活動として、web等による広報を行った。昨年からはじめて2回目の開催	行政連絡会議のネットワークを活かしたさらなる活動PR、参加呼びかけを行っていききたい。	A-1
		どうなん追分シーニック清掃活動 (江差椴川沿清掃活動)	平成31年4月21日 ※シーニック清掃活動 期間4/14~4/29	江差観光コンベンション協会・江差町・歴まち商店街協同組合・檜山振興局・函館開発建設部	国道228号沿い江差町椴川で行われた清掃活動に参加。また、春の全道一斉活動として、web等による広報を行った。今年で7回目の開催となり、海岸側のゴミは減少したが駐車場側に新たなゴミ問題がでてきている。		A-1
		どうなん追分シーニック清掃活動(木古内R228沿清掃活動)	平成31年4月14日 ※シーニック清掃活動 期間4/14~4/29	木古内町観光協会・咸臨丸とサラキ岬に夢見る会・木古内商工会・木古内町・函館開発建設部	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行われた清掃活動に参加。また、春の全道一斉活動として、web等による広報を行った。今年で4回目の開催で町民の参加率が高まっている。		A-1
		どうなん追分シーニック清掃活動 (松前折戸浜「秀逸な道」区間 清掃活動)	令和元年6月8日	松前町・松前周辺郵便局関係者	国道228号沿いの「秀逸な道」区間の折戸浜海岸での清掃活動は郵便局職員中心に行われており、町から知らされ参加。多様な団体のボランティア活動との連携を視野に参加		A-1
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動 (サラキ岬チューリップフェア)	令和元年5月1日~6日	木古内町観光協会・咸臨丸とサラキ岬に夢見る会・木古内商工会・函館開発建設部	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行っている植栽活動のイベント。観光空間づくりとしてルート活動の中心の取組。4日の夜には「どうなん・追分シーニックdeナイトも開催		A-2
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動 (サラキ岬球根掘起し)	令和元年7月6日	木古内町観光協会・咸臨丸とサラキ岬に夢見る会・木古内商工会・函館開発建設部	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行われた球根掘起しに参加および広報支援を実施。人的支援が増加し、高齢化した活動が改善、円滑化された。		A-2
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動(サラキ岬球根植え)	令和元年10月26日	木古内町観光協会・咸臨丸とサラキ岬に夢見る会・木古内商工会・函館開発建設部	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行われた球根植えに参加および広報支援を実施。人的支援が増加し、高齢化した活動が改善、円滑化された。		A-2
		福島町R228沿い青函トンネル記念館前植栽活動	令和元年6月26日	福島町観光協会・函館開発建設部	今年度から福島町青函トンネル記念館前の植栽エリアでの植栽をルートとして支援		A-2
		どうなん追分シーニックdeナイト(サラキ岬チューリップフェア2019)	令和元年5月4日	木古内町観光協会・咸臨丸とサラキ岬に夢見る会・木古内商工会・函館開発建設部	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行っている植栽活動のイベント。観光空間づくりとしてルート活動の中心の取組。4日の夜には「どうなん・追分シーニックdeナイトも開催しており、平成23年から8回目(1度悪天候により中止)となる。		A-3
		どうなん追分シーニックdeナイト(どうなん道の駅連携3町同時開催)	令和元年12月22日	厚沢部町観光協会・福島町観光協会・木古内町観光協会	主に道の駅周辺で地元の方々の閑散期の冬期時に集客目的での開催だが、まだまだ周知には至らず。今回は告知期間も短かったため効果を出せなかった。		A-3
どうなん追分シーニックdeナイト(みそぎ祭りみそぎキャンドル)	令和2年1月14日	木古内町観光協会・木古内商工会・木古内町渡島総合振興局・函館開発建設部	行政連絡会議を通じて広報など支援を実施。祭り期間の14・15日にシーニックパネル展を開催。多くのイベント参加者が参加した。	A-3			

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域づくり	交流人口を高める人材の育成	第27回殿様街道探訪ウォーク春	令和元年5月3日	福島町千軒地域活性化実行委員会	地域活動として、参加		B-1
		第28回殿様街道探訪ウォーク秋	令和元年10月20日	福島町千軒地域活性化実行委員会	地域活動として、参加		B-1
		第19回学習会(定期総会時) (おもてなしガイド勉強会)	令和元年年6月7日	どうなん追分SBWR	オブザーバーとして定期総会・学習会に参加		B-3
		第20回学習会(全体会議時) [「秀逸な道」勉強会]	令和元年年11月27日	どうなん追分SBWR	行政連絡会議開催と同日に実施。協議会としての取組を講演		B-3
	情報共有と情報受発信の相乗効果	パネル展示 (寒中みそぎ祭り会場)	令和2年1月14日・15日	函館開発建設部	木古内町寒中みそぎ祭りの会場において、管内道路事業及びシーニック活動等に関するパネル展示を実施		C-2
		ホームページの作成	随時	どうなん追分SBWR	情報共有を図りながら情報の発信による活動支援		B-4
		FB(SNSの活用)	随時	函館開発建設部・函館運輸支局・渡島総合振興局・檜山振興局・各町自治体ほか	情報共有を図りながら情報の発信による活動支援		B-4

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
観光	北海道新幹線効果の対応と取組	第19回学習会(定期総会時) (おもてなしガイド勉強会)	令和元年年6月7日	どうなん追分SBWR	オブザーバーとして定期総会・学習会に参加	行政連絡会議のネットワークを活かしたさらなる活動PR、参加呼びかけを行っていききたい。	B-3	
		第20回学習会(全体会議時) (「秀逸な道」勉強会)	令和元年年11月27日	どうなん追分SBWR	行政連絡会議開催と同日に実施。協議会としての取組を講演		B-3	
		どうなんサイクル事業 台湾招聘ツアー	令和元年10月2日～5日	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	ツアーに関する広報活動やパンフレットの配布などによる情報提供を実施した。 今後は、サイクルツーリズムの推進に向けた更なる情報発信が必要。		B-2 C-3	
		米国コロラド州SBW関係者視察	令和元年9月16日～19日	シーニックバイウェイ支援センター どうなん追分SBWR	視察随行		C-3 C-4	
	地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり							
	各地域の観光イベントの連携	パネル展示 (寒中みそぎ祭り会場)	令和2年1月14日・15日	函館開発建設部	木古内町寒中みそぎ祭りの会場において、管内道路事業及びシーニック活動等に関するパネル展示を実施			C-2
	日本風景街道・シーニック連携	米国コロラド州SBW関係者視察	令和元年9月16日～19日	シーニックバイウェイ支援センター どうなん追分SBWR	視察随行			C-3 C-4
		秋田県のしろ市民まちづくりフォーラム参加	令和2年2月18日～19日	のしろ白神ネットワーク事務局	同行参加			C-4